

「産後クライシス」対策プログラムのご紹介

小さな家族が増えて、暖かく笑顔に満ちた日々を想像していたら、現実には、疲労と苛立ちの日々。狭い部屋の中で繰り広げられる居心地の悪い夫婦の攻防。……このような「産後クライシス」と言われる状態は、なぜ起こるのでしょうか？

patomato [パトマト] では、家庭内の私的な問題と片付けがちな事柄の多くは、社会的な状況や問題として捉えることができると考えます。社会学の視点を取り入れたふたつのプログラムで「親」として家庭と社会を考える場づくりをします。

パパもママも、育児の初心者。ゼロからの対等なスタートをお手伝いしたいと思います。

産後クライシス対策ワークショップ OYAOYA?

父親・夫婦



グループワーク
セッション

+

レクチャー
セッション



産後クライシスの源泉・構造について、

男性：リアルな想像力を持つ

女性：客観的な視点で捉える

ことを目指し、夫婦が共通の問題意識を持つ土台作りをします。

おすすめ実施シーン

- ・産前産後の両親学級／父親学級
- ・子育て支援施設での両親／父親／母親向け講座
- ・企業内での育休社員向け講座

対象

- ・妊娠期／子育て期（0-3才程度）の男性のみ
 - ・妊娠期／子育て期（0-3才程度）の夫婦
- ※女性のみもアレンジできます

お母さんの「実りある雑談」 IDOBATA!

母親



テーマ有りの
意見交換

+

周辺知識や
データ紹介



育児で直面する問題を、私的な事として飲み込まず、共有し、社会的な背景と結びつけ、別の視点で捉え直すきっかけ作りを目指します。少人数でリラックスした雰囲気です。

おすすめ実施シーン

- ・子育て支援施設での母親向けプログラム

対象

- ・子育て期の女性（主たる育児従事者）

ふたりは同時に親になる。

patomato

<http://patomato.com>

お問い合わせ hello@patomato.com

代表・ファシリテーター 狩野さやか

早稲田大学第一文学部社会学専修卒。デザイナーとしてウェブやアプリのデザインに携わる一方、人気の育児ウェブ媒体「MAMApicks」のライターとしてコラムを連載している。子育てから透けて見える社会や家族の問題を共有する場作りのため「patomato」を運営。